

## 「鶴見川サマーフェスタ」において自衛隊をPR



迷彩服を着てポーズをとる子供



自衛隊ブース前で子供たちの質問に応じる広報官

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 服部 3 陸佐）は、8月19日（土）、佃野公園（横浜市鶴見区）にて開催された「鶴見川サマーフェスタ」において自衛隊をPRした。

自衛隊ブースでは、南極の氷の展示の他、子供用迷彩服の試着、鶴見区出身のブルーインパルス飛行隊長稲留仁2佐の紹介パネル展示を行い、多くの来場者で賑わった。

迷彩服試着では、子供たちがミニ自衛官になり、敬礼ポーズを取って撮影を行うなど、多くの家族連れが列をなした。

パイロットになりたいという生徒は「飛行隊長と同じ地元出身です。自衛隊のパイロットもありですね」と話した。

横浜出張所は「今後も地域と密接に連携したイベント等に参加し、自衛隊に対する関心の喚起と理解の増進に努め、防衛基盤の拡充につなげていきたい」としている。

## 募集相談員と共に駅前で高校生に自衛官募集をPR



東急つきみ野駅前にて下校中の高校生に募集リーフレットを手渡す募集相談員

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山一海尉）は、9月13日（水）及び15日（金）の2日間、東急つきみ野駅前（大和市つきみ野）において、募集相談員の協力を得て街頭広報を実施した。

当日は、日中の暑さがまだ残る汗ばむ陽気であったが、広報官と識別服を着用した募集相談員が一丸となり、下校中の高校生に笑顔で声を掛け、募集案内の入ったポケットティッシュや募集リーフレットを手渡した。受取った生徒は「迷彩柄のティッシュ、カッコイイ」「自衛隊の大学があるんだ」「看護もあるんですね」と話しリーフレットに見入るなど、興味を持った様子だった。

募集相談員の協力のもと、ポケットティッシュ300個、リーフレット150枚を配布し、多くの高校生に自衛官募集をPRした。

厚木募集案内所は「今後も、募集相談員と協力して自衛官募集や自衛隊の活動や魅力を積極的に発信し、募集及び防衛基盤の拡充に努めていきたい」としている。

## 自衛隊家族会川崎北地区会の陸自富士駐屯地研修及び開発実験団長の表敬を支援

自衛隊家族会川崎北地区会会員の表敬を受ける  
開発実験団長木口 雄司陸将補

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋准陸尉）は、9月25日（月）、自衛隊家族会川崎北地区会8名の陸自富士駐屯地研修及び開発実験団長の表敬訪問を支援した。

最初に資料館を見学し、陸軍展示室にて広報官から明治天皇が実際にご着用になった大元帥の正装が紹介されると、参加者たちはその希少さと華やかな装いに感激している様子だった。

開発実験団では、団長である木口雄司陸将補を表敬し、川崎市出身で両親が同家族会会員という団長は、家族会の大切さを自身の経験を交えて話すなど会員らと懇談した。

溝の口募集案内所は「今後も部隊研修等の支援を通じて、家族会との連携を深め、自衛隊への理解増進に努めていきたい」としている。